

～ 元気・本気・笑顔 で挑戦！ ～



朝陽五小だより

鶴岡市立朝陽第五小学校

令和8年4月30日

令和8年度 第1号

TEL22-0514 FAX22-0462

Email choyo5-e@tsuruoka.ed.jp

4月10日の入学式で46名の新入生を迎え、全校児童352名、教職員36名で令和8年度のスタートを切りました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

4月8日に1学期の始業式を行いました。そこで子ども達に話したことをお伝えします。

今日から令和8年度がスタートしましたが、ここにいる352名みんなが「安心・安全に、笑顔で過ごせる学校」にしていきたいと考えています。そのためにも、今年1年間「相手意識（相手のことを思いやる気持ち）」を大切にしながら過ごしていきましょう。

相手意識を育むために皆さんからがんばってほしいことが二つあります。一つ目は「あいさつ」です。朝、皆さんが登校する時に校門に立っていますが、校長先生は皆さんのあいさつを聞くのがとても楽しみです。そのあいさつですが、4つのグループがあることに気がきました。

一つ目は、あいさつをしても返してくれない、ちょっと残念なグループです。二つ目は、あいさつを返しているのですが、声が小さいため相手に伝わりにくいグループ。あいさつを返す気持ちはあるのに、もったいないなあと思いました。三つ目は、あいさつをしっかりと返してくれるグループ。あいさつを返してもらえるととても嬉しくなります。四つ目は、自分から先にあいさつをしてくれるグループ。これは最高に嬉しいあいさつです。中には、目を見ながら、会釈をしながらあいさつできる人もいて感心します。

さて、去年の皆さんのあいさつはどのグループだったでしょうか？ あいさつは人と人をつなぐ魔法の言葉です。自分からあいさつをすることで、友だちも先生も、地域の方もきっと笑顔になります。「自分から先にあいさつをする」ことに、今年みんなでチャレンジし、あいさついっぱい五小にしていきたいです。

二つ目は「言葉づかい」です。あいさつの言葉や、「ありがとう」などの感謝の言葉、「ごめんなさい」などの謝る言葉、「大丈夫？」「大丈夫だよ」など困っている時や悲しんでいる時にかかる言葉、注意をする時にかかる言葉、これらはすべて相手を思いやる言葉になります。相手の気持ちを考えた言葉を使えば、今よりももっと、相手はあなたに心を開いてくれると思います。そんな相手を思いやる言葉を、みんなで使っていきましょう。

今お話しした「あいさつ」と「言葉づかい」を、ぜひ今日から始めてみてください。皆さんの一言で五小はもっと明るくなります。その一歩が、素敵な1年につながります。そんな学校をここにいるみんなで創っていきましょう。

今年度は学校創立152年目ですが、校舎・グラウンドの竣工と創立150周年を記念しての「竣工・150周年記念イヤー」となります。12月5日の竣工式典に加え、様々な催しや取り組みも計画しております。子ども達や保護者・地域の皆さんと一緒に、記念の1年を創っていきたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(文責：校長 岡部貞二)

待ちに待ったゴールデンウィーク！

安全に気を付けて楽しい連休をお過ごしください。